

IPdash東京特許事務所 IPdash Tokyo Intellectual Property Firm

生成AI、メタバース、プラットフォーム… 最新IT技術の迅速な特許取得をサポート

ベンチャー企業・IT企業の特許取得や商標登録を支援し、また知財コンサルサービスも提供しているIPdash東京特許事務所。大手メーカーの研究者から弁理士となって独立開業し、同事務所代表を務める留場恒光氏に、高い特許査定率を誇る秘訣を聞いた。

特許査定率を高める 2つのポイント

IPdash東京特許事務所はベンチャー企業やIT企業から相談を受けることが多く、生成AIやメタバースなどの先端IT分野で特許取得を支援してきた。

特許の取得には、①出願、②審査請求の2ステップが必要だが、審査請求をすれば即座に審査がスタートするわけではなく、審査待ち期間が通常1年弱ある。ただし早期審査制度の利用により、この期間は短縮可能だ。IPdash東京特許事務所 代表弁理士の留場恒光氏は、「スピード感を重視するベンチャー企業やIT企業のお客様が多い当事務所では、ほぼ全ての案件で早期審査を利用しており、2024年現在、弊所における出願から特許取得までの期間は平均4.1カ月で

す」と教えてくれた。

IPdash東京特許事務所は、IT・ソフトウェアを中心に幅広い分野の特許取得をサポートしている。特許査定率（特許が認められる成功率）を高めるためのポイントについて、留場氏はこう明かした。

「ポイントは2つあります。1つ目は、お客様の発明に近い先行技術を探す特許調査です。特許出願をすると、特許庁の審査官から特許できない理由が示された拒絶理由通知書が届く場合があります。弊所では出願の前に先行技術を十分調査し、どのような拒絶理由通知があり得るか考えながら特許明細書を作り込みます。またそのため弊所では、生成AI技術などを調査するための特許検索式を作成・保有しています。2つ目は、審査官とのコミュニケーションです。拒絶理由通知書が届いたときに、審査官と積極的に面接し、検討している補正の方向性が審査官の意図に沿っているかなどを確認するためのコミュニケーションを取りながら、特許査定の確度を高めています」

先端IT技術の 特許取得に強い理由

さらに、早期審査の利用と積極的な審査官面接を通じて、最新技術について審査官の考えを早期に把握できる利点があると留場氏は明かす。「生成AIに関する特許出願は急増しているものの、特許文献の蓄積はまだ限定的です。しかし審査官は外国文献も含めて調査を行い、特許するか否かを判断します。そのため審査官面接では先端のIT技術における審査官の考え方に触れることができます。早期に得られるこの知見が弊所の強みです」（留場氏）。IT・ソフトウェア分野の知財案件を数多く手掛けることで蓄積された知見・ノウハウは、他の特許出願を検討する際にも活かしている。

留場氏は知財が初めてという人向けに積極的な情報提供を行っている。

「『知財をもっと身近に』をコンセプトに、ホームページやYouTubeチャンネル（ずんだもん動画）を通じた情報発信にも力を入れています。ぜひご覧ください」（留場氏）



IPdash 東京特許事務所
代表弁理士・理学博士
留場恒光氏
Hisamitsu Tomeba

Contact

IPdash東京特許事務所



〒105-0013 東京都港区浜松町2-2-15 ダイアハイビル2F
TEL : 03-6681-1614 Email : iinfo@ipdash.jp
URL : <https://ipdash.tokyo/>

